



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第444号

横浜市立みたけ台中学校

令和5年12月25日

学校教育目標：めざします！生き生きと楽しく笑顔あふれる学舎（まなびや）を！！

生みの苦しき のあとの達成感・満足感・成長…

～ 12月12日 生徒会企画「お楽しみデザート」 大成功！！ ～

校長 羽田 敏隆

全校生徒の“わくわく”“笑顔”“非日常”“楽しい学校”の一つとして考えられた今回の生徒会企画。企画について、当初は“体育祭の時に生徒会で考えたお弁当を食べよう”というものでした。

「新しいことをやる」「今までの取組を変える・改善する」「企画し、準備し、実現する」ためには大きなエネルギーや時間が必要です。実現までのハードルの高さにあきらめる・断念せざるを得ないケースもあります。今回の企画は“食”に関するものであり、実現のために配慮しなければならないことが数多くあり、何度も練り直したり計画を修正したりする必要がありました。生徒会役員たちも投げ出したくなった場面があったことと思います。

しかし、時間をかけ修正を重ねた結果、12月12日の昼食時に「お楽しみデザート」を実施することができました。

大変ではあったけれど「得られる達成感・満足感やその過程での成長は計り知れないほど大きい！」ということを知り、今回の「お楽しみデザート」での取組をみて実感しました。そして、子どもたちからこのことを学び、改めて自分も“自由な発想”“遊び心”“チャレンジする姿勢”や、やらされ感ではなく“アイデアを実現するための主体性”を大切にしたい、そういう人でありたい、と思いました。

PTAの方々をはじめとした「たくさんの支えがあってこそこの大成功」だったことへの感謝の心を大切に、言葉で表すことを忘れない生徒会長の内丸君でした。どうもありがとう。達成感とやり遂げてホッとした安堵の笑顔が素敵でした。

「ご当地スイーツ」というコンセプト

☆ 軽羹饅頭（＝鹿児島県）

☆ リンゴ小町（＝青森県）

☆ 一六タルト（＝愛媛県）

☆ カステラ巻き（＝長崎県）

※ アレルギー対応：小麦を使わないスイーツとして栗や抹茶など6種類の羊羹（＝東京都）も用意しました。

この漢字を選んだのは誰？

愛 迷 感 新 花
育 繫 車 瞬 耐
豪 改 優 挑 信
蒼 虎 想 熱 暑
楽 逢 動 次 喜

「今年の漢字」は『税』に決まりましたが、みた中の先生方にも「今年の漢字」を選んでいただきました。先生方ひとりひとり、いろいろな思いをもって今年1年を過ごしてきたことが感じられました。どんなことを大切にしていらっしゃるのかを知ることでもでき興味深かったです。皆さんならどんな漢字を選びますか？

- 三者面談（12月4日(月)～8日(金)）ありがとうございました。限られた時間でしたが、頑張ったことや成長したこと、今後の課題などをお伝えしました。ご家庭での様子や学校への期待をお聞きすることもでき大変貴重な時間となりました。今後ともよろしく願います。
- いろいろな場面で保護者の皆さまや地域の方々にご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。たくさんのお力添えをいただき、子どもたちは大きく成長することができました。
- みたけ台中教職員一同、子どもたちの健全な成長のために、これからも子どもたちと共に頑張っていきます。
- 寒さが厳しくなってきました。健康に留意し、よいお年をお迎えください。

<ふるさとマラソン>

12月3日(日)、中里北部連合町内会で行われた「ふるさとマラソン」に、今年も陸上部とサッカー部の生徒が参加しました。とても良い天気の中、地域の皆様、学生スタッフの皆さんの応援やサポートを受け、力いっぱい走ってきました。

参加した全員が完走しただけでなく、中学男子の部は1位、2位、中学女子の部は1位、2位、3位、成人男子の部は青木先生が3位と、大健闘でした。



<お楽しみデザート企画>

12月12日(火)、前生徒会本部役員が計画し、準備を進めてきた“みたけ台中学校の生徒が笑顔になる企画”・・・「お楽しみデザート」が実施されました。

前生徒会本部役員が、アレルギーや予算を考えて精選した全国ご当地おやつの中から、生徒それぞれが食べたい一品を選びました。

前生徒会本部役員の3年生は、役員を新役員に引き継いだ後も、企画を実現すること、生徒みんながわくわくした気持ちでこの企画に参加できることを考え、アンケートの実施やCMの作成、届いたお菓子の仕分けなどに取り組みました。

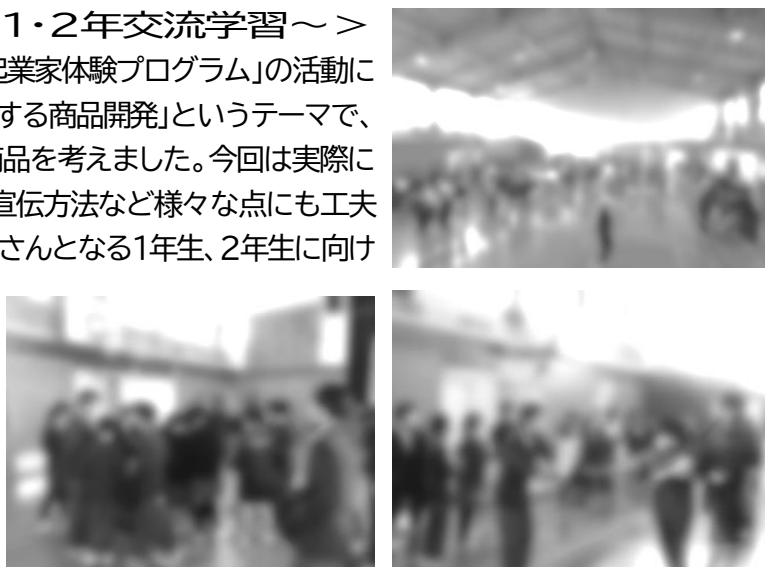
当日、昼食時に届いたデザート。「このクラス、リンゴ小町、ぼくだけなんです。信じられません。」と自分の選んだデザートのアピールをしたり、柚子羊羹を食べながら「柚子の香りが…」と食レポをしたり、「おなかがいっぱいじゃないときに食べて味わいたいから」と持ち帰ったりと、それぞれに楽しそうな姿が見られました。



<起業家体験プログラム～1・2年交流学习～>

2年生は課題発表会が終わってから「起業家体験プログラム」の活動に取り組んできました。「学校生活を豊かにする商品開発」というテーマで、学校生活の困り感を解消できるような商品を考えました。今回は実際に商品を作りませんでしたが、販売価格や宣伝方法など様々な点にも工夫を凝らしました。12月14日(木)にはお客さんとなる1年生、2年生に向けて販売！呼び込みも頑張りました。

リスクを恐れず挑戦すること、解決に向けて立ち向かっていくこと、様々な活動にはたくさんの人の協力があること、社会人になって必要な力を体験の中で学ぶことができました。

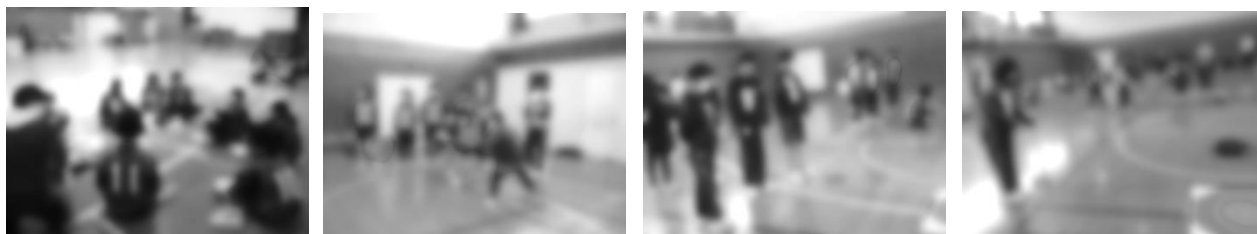


<ボッチャ体験～県立あおば支援学校との交流～>

12月15日(金)に県立あおば支援学校とパラスポーツのボッチャ体験を通して交流会をしました。今回はボールを的となるマットに転がし、中心に近いほど得点が取れる特別ルールで行いました。とても分かりやすく、みんなで楽しむことができました。

【生徒の感想】

- ・球の重さが予想以上に軽く、すごく転がるのでとても難しかった。
- ・チームで盛り上がり励ましの声もあったので、団結力が深まる競技であることも実感できた。
- ・あおば支援学校の子が気合の入れ方を教えてくれて、盛り上がったりの気が出て楽しかった。



<しめ縄づくり体験～地域の方々との交流～>

12月15日(金)の5・6校時にしめ縄体験が実施されました。毎年、1年生を対象に実施され、今年度も無事に行うことができました。日本の伝統行事の一つとして学び、良い年末年始を迎える準備をすることができました。地域の鉄寿会から金子茂文様をはじめ13名の地域の方に講師となっただき、生徒たちは結び方に悪戦苦闘しながらも、最後に完成するとたくさんの笑顔がありました。ご協力ありがとうございました。

